

指導行政のポイント

“IT 新改革戦略”のスタート

菱村 幸彦

今年度から、わが国のIT戦略は新たな段階に入った。教育の分野でも様々な新しい取り組みが始まっている。

教育の情報化を進める4つの柱

政府は、2001年度から「e-Japan 戦略」を策定し、世界最先端のIT国家を目指して、様々なIT関連施策に取り組んできた。「e-Japan 戦略」は、2005年度で計画を終了したが、政府は、今年1月、新たに「IT新改革戦略」を策定した。

この新改革戦略では、教育分野の情報化について、次のような施策が掲げられている。

第1は、IT環境のさらなる整備である。e-Japan戦略は、おおむね目標を達成したが、校内LANの整備など目標を達成できなかったものもある。新改革戦略では、2010年までにすべての公立学校で光ファイバーの超高速インターネットに常時接続できるようにし、各教室においてIT活用が可能となるよう校内LANの整備を図る。

第2は、教員のIT活用能力の一層の向上である。e-Japan戦略では、教員のコンピュータ指導力の向上が目標に一步足りなかった。今後、教員のIT活用能力の到達目標を定め、客観的な評価基準を明確にする具体政策を進める。

第3は、IT教育の充実である。インターネットやコンピュータを使い、わかりやすい授業や児童・生徒の興味や意欲を高める授業の取り組みが全国的に広がっている。今後、授業で使用するコンテンツの充実に努めるとともに、教科指導におけるITの活用を一層進め、児童・生徒の興味や意欲を高める授業を推進する。それと同時に、情報モラル教育の充実を図る。

第4は、校務の情報化である。現在、公立学校の教員の半数以上が、自分のパソコンを校務に利用し

ている。文科省は、2010年度までに教員1人1台のパソコンを配備し、学校と家庭や教育委員会との情報交換の手段としてのITの効果的な活用や様々な校務のIT化を積極的に推進する。

「情報教育セミナー2006」の案内

ところで、私の属する(財)学習ソフトウェア情報研究センターでは、教育の情報化のための諸事業を実施している。その一環として、今夏、当財団主催で「情報教育セミナー」を開催するので、以下にその概要を紹介しよう。

《テーマ》教育効果を高めるインターネット活用
《日時》平成18年8月1日・2日(10時~17時)
《会場》日本科学未来館みらいCAN ホール、イノベーションホール(東京都江東区青海2-41)
《後援》文科省、都道府県教育委員会連合会、東京都教育委員会、日本教育情報学会、日本教育新聞社
《参加費》5,000円(ただし、1日のみ3,000円)
《参加定員》300名

このセミナーでは、毛利衛氏(日本科学未来館館長・元宇宙飛行士)の特別講話をはじめ、小川壮参事官(文部科学省)の基調講演「新しいIT戦略と文部科学省の基本方針」および赤堀侃司教授(東京工業大学)の講演「諸外国の情報教育と展望」のほか、中川一史助教授(金沢大学)主宰によるパネルディスカッション「授業におけるデジタルコンテンツの効果的活用」、堀田竜也助教授(メディア教育開発センター)主宰によるパネルディスカッション「ここから始めるIT活用」などを予定している。ふるってご参加いただければ幸いです。なお、参加申し込みは、学習ソフトウェア情報研究センターのHP(<http://www.gakujoken.or.jp>)の「講習会案内」欄で受け付けている。

(ひしむら・ゆきひこ=(財)学習ソフトウェア情報研究センター理事長)

●好評発売中! ●55項目の対応緊急度と年間実施プラン 小島宏【編】B5判 2500円 教育開発研究所・刊

『緊急度で取り組もう“学校の説明責任”』

研修誌・図書の小社への直接のお申し込みは無料FAX 0120-462-488 をご利用ください(24時間受付・即日発送)